

業務委託仕様書

1 件名

コミュニティビジネス基本計画策定業務委託

2 目的

現在、農村は、高齢化、少子化、後継者不足、農地の荒廃、空き家の増加、仕事場がない、文化・伝統の継承ができない、等の課題を抱えている。これらを解決するために「地域コミュニティ」の導入が効果的である。「地域コミュニティ」は、その地域に住んでいる住民が主体となって、自発的に地域の問題に取り組み、ビジネスとして成立する事業活動を確立していくための手法である。

今回の目的は、1) 今まで眠っていた労働力・原材料・ノウハウ・技術などの地域資源を「地域コミュニティ」で活かすこと、2) 住民一人ひとりの役割分担を考察すること、3) 眠っている地域資源を発掘することで将来、仕事となり得るための可能性を予測すること、4) どのようにすることで、その地域にふさわしい新しいコミュニティのあり方を考えていくことが可能かを考察し、充実するための計画を策定すること、とする。

3 対象区域

本業務の対象区域は、対象市町村内の地域とする。

4 業務の内容

1. 顔の見えるコミュニティの創出（計3回の懇談会の開催）

出席者の把握及び地域及び集落での課題の整理と問題点の把握

集落に住んでいる対象者30名程度に懇談会形式でヒアリングを行う。

眠っている資源の評価

現地視察および資料から分析する。

活用できる資源の創出及び事業化の可能性

現地視察および資料から解析する。

人材の不足と意欲ある人間の把握

会議出席者からヒアリングを行う。

2. 4つの方向性からの考察

上記1で調査した内容を、その地域特性を踏まえ、以下に掲げる4つの方向性からそれぞれ検証し具体的な事業案を考察する。

地域開発 企業経営 市民セクター NPO

3. 地域資源の再評価、活用できる資源に変えるための事業の創出及び課題の整理

懇談会の開催し、事業主体と予想される団体とその他の打ち合わせを行う。（計3回）

事業主体を選定し、運営をする場合の運営方法、および責任範囲を確認する。

事業ごとに、人、資源、ノウハウ、資金その他について事業化に向けての可能性をさぐり、問題点と課題を明確にする。

4. コミュニティ・ビジネスを支援する中間支援組織の在り方

上記3.で想定できる事業を洗い出した後、どのような中間組織があればいいのかを具体的に示す。(中間の支援機関の役割は、キーマン(人材)・智恵・ノウハウを地域に働きかけて提供したり、外部のネットワークを紹介したり、サポートしたり、場合によっては資金を提供したりする。)

5.事業化に向けて

人材育成

従来の箱物支援ではなく、地域リーダーやマネージャー、コーディネーターの育成、つまり、各地に配置されている箱物をいかに運用・管理していくか、このような視点に立った経営のわかる人材の育成方法を検証する。

女性・高齢者の人材活用

従来の家内労働、シャドーワークから離れて賃金労働者を意識したような雇用創出、それによるやる気を出す仕掛け作りを検討する。

新しい地域コミュニティ

縦割りの社会に横串を刺した問題解決型のコミュニティ・ビジネスをつくり、それを幾重にも重ねてネットワーク化していく、そういったプロセスの具体化を目指す。

新たな政策誘導および地域信託構想

コミュニティ・ビジネス支援では、コミュニティ・ファンドで支援するといった新しい誘導政策を設け、人、物、金、知恵の積極的活用によってそれらの地域内循環を促すための具体的な計画づくりを行う。

6.まとめ

成果品(計画書)の調整作成

内部協議、内容の調整等を行い、計画書を作成する。

5 成果品

本業務の成果品は以下のとおりとする。

- | | |
|---------|-----|
| (1) 計画書 | 10部 |
| (2) 原稿 | 1部 |

6 工期

本業務の工期は、下記のとおりとする。

自 契約の日(平成23年 月 日)
至 平成24年 月 日